

4

事業・活動のトピックス

(平成27年度)

●「援農隊」の発足

4月1日、農家組合員の農作業を請け負う「援農隊」を結成しました。耕作放棄地の拡大や農家組合員の高齢化が進む中、肥料・農薬の散布や除草作業などの労働力を支援し、地域農業の振興・農業環境の維持に努めています。

平成27年度は、55件、1,203aの農作業を受託し、管内各地で活動しました。



■援農隊

●「FVMとどけ隊」の発足

12月20日、安全・安心な地元の農畜産物を全国の消費者のもとへ発信していくため、「FVMとどけ隊」を結成し、「第46回沼津農林まつり」にて活動を開始しました。FRUIT(フルーツ)・VEGETABLE(ベジタブル)・MEAT(ミート)の頭文字を名前に使用しており、各種イベント等で販売・PRを行うJA職員6人で構成しています。

「FVMとどけ隊」のロゴ入りジャンパーを着用し、来場客に管内の特産品である「西浦みかん」や「あしたか牛」などの販売・PRを行いました。



■FVMとどけ隊

●「年金友の会」歌謡ショーを開催

2月4日、「年金友の会」会員のみなさまを対象に、沼津市民文化センターにて「石川さゆり歌謡ショー」を開催しました。「昼の部」と「夜の部」の2回公演を行い、約2,700人が来場し、代表曲「津軽海峡・冬景色」や「天城越え」など計19曲を披露しました。

また、ショー終盤には、JA職員によるバラの花束と寿太郎みかんの贈呈を行いました。



■年金友の会歌謡ショー

●キンカン「こん太」援農ボランティア開始

2月15日、管内の特産品キンカン「こん太」の収穫作業を手伝う援農ボランティアをスタートしました。

援農ボランティアは、農家の人手不足の解消と生産者や消費者との交流の機会づくり、また地域の農業や特産品について理解を深めてもらうことを目的に実施しています。

キンカンの他に、ぬまづ茶、四ツ溝柿、西浦みかんのボランティアによる収穫作業を行っています。



■援農ボランティア(キンカンこん太)

●そば店「五竜庵」来店者5万人達成

11月6日、裾野市で栽培が行われている「あしたか山麓裾野そば」を提供する、そば店「五竜庵」が来店者5万人を達成しました。

当日は、記念セレモニーを開催し、5万人目の来店者には、鈴木道也組合長や高村謙二裾野市長、河内昭二そば部会長より、記念品として地元新鮮野菜の詰め合わせや花束などが贈られました。



■五竜庵5万人達成